

(第15号様式)

令和5年度事業実績書

事業実施主体名	特定非営利活動法人 こどもサポートにつこ・にこ
事業名	子どもの地域探究とものづくり実践
事業実施構成団体名	(1) 特定非営利活動法人 こどもサポートにつこ・にこ (2) 放課後児童クラブ すこやか・のびやか (3) 株式会社 デンケン エレクトロニクス事業部
事業実施地域	杵築市内
事業実施時期	令和5年7月1日 ～ 令和6年3月10日
補助事業の概要	<p>1. タブレット教室 (毎週木曜日16時～17時実施) 子どもたちは本教室にて、IoT センサープログラミング「MESH」、3D 仮想世界プログラミング「Minecraft」、AI 犬型ロボットプログラミング「aibo」、画像生成AI「AI マイモン」、チャット生成AI「大ちゃん」、Scrachプログラミング「スイカゲーム」等、を体験してプログラミング基礎を学び、地域の観光資源を擬似製作して「ものづくり」を学んだ。</p> <p>2. 夏休みものづくり体験 (7月末～8月中旬に4回実施) 子どもたちは夏休みに、(株)デンケン エレクトロニクス事業部(杵築、守江工場)にて地域にある工場を見学し、製造現場から「ものづくり」の流れや仕組みを学んだ。また、工作体験では市販 LED ライト工作キットを使用してはんだ付け、組立を行い「ものづくり」を実体験した。</p> <p>3. ものづくり成果発表会 (2024年2月22日実施) 本年度の成果発表として、デンケンさまがタブレット教室の「b&g きつき」に来館され、子どもたちが普段学んでいる様子を見学いただき、子どもたちと一緒にプログラミング体験をして交流した。</p>
補助事業の効果	<p>1. タブレット教室 子どもたちが住む地域社会の観光資源を知り、関連する構造物を仮想世界に擬似創造して地域の特長アピール等を作品発表して、さまざまな体験からものごとの仕組みを知り考える力が身に付いてきた。 (地域の困りごとの課題解決に向けた活動は次年度に繰越して継続予定である。)</p> <p>2. 夏休みものづくり体験 子どもたちが住む地域企業の工場を見学して事業内容を理解して親しみ、自分たちが住んでいる地域社会とのつながりを感じることが出来た。</p>

	<p>また、企業も地域貢献の活動として広報することにより、子どもたちが将来大人になり人材確保につながるような、地域企業の認知と理解が出来た。</p> <p>3. ものづくり成果発表会 子どもたちが普段学んでいるタブレット教室の見学を通して交流でき、子どもを見守る社会の向上へ一助となった。また、地域の放課後児童クラブなど当団体の事業活動についてご賛同いただいた。</p>
補助事業の継続性	<p>本年度実施した下記3点の活動内容は、本補助事業にて購入した物品を活用して次年度以降も継続して活動予定。 (LED ライト工作体験は時間と費用面で要調整)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タブレット教室 2. 夏休みものづくり体験 3. ものづくり体験発表会 <p>また、次年度では他の放課後児童クラブへの展開を計画し、連携交流を予定している。</p> <p>さらに、将来のある子どもたちに地域社会を託せるように、タブレット教室の活動を通して、実社会でも自分で調べて行動できる人材育成を継続していく。</p>